

FUNCTION

VOL.5

日本の誇りとも言える歯科技工の
技術力が継承できなくなれば、
日本の歯科医療が
危機的状況になります。

Contents

患者さまへ	Message
杉元のつながり	Network
周囲の視線	Around
お知らせ	News
杉元が答える	Communication

患者さまへ

前号では、歯科技工の海外委託により、日本でも安全性の確保ができない歯科技工物（詰め物や被せ、入れ歯など）が出回っているという問題についてご紹介しました。今号では、歯科技工の海外委託が国内の歯科医療に及ぼす影響について書きたいと思います。

元来、歯科技工士の仕事は厳しく、けつして楽なものではありません。長時間労働や低賃金などが主な要因となり、全国的に志願者は激減、若年層の離職率は高まっています。ところが、そのような状況下でも、日本の技工所にいる個々の技工士は、歯科医療に対する使命感を持ち、純粋に業務と向き合っています。私の組織にも技工士がたくさんいますが、技術向上のため、日々、努力を惜しむことなく真面目に働いています。

以下、私見ですが、日本の技工士の技術力はかなり高く、世界的に見ても「日本の誇り」とも言えるレベルにあると思っています。しかし、このまま歯科技工の海外委託が増加していけば、多くの日本人歯科技工士の生活が脅かされることとなります。また、それによって、技術を継承していく次世代の確保もできにくくなり、育てる土壌もなくなり、果ては歯科医療の崩壊につながっていく可能性も高くなっていくと考えます。

当然ながら、海外の歯科医療を向上させようとしている技術者への批判ではありません。私は、国内にいる歯科技工士の地位が向上し、国民の安全な歯科医療を担保できる法的、政治的な解決を心より願っています。

杉元のつながり

「歯科業界で知らない者はいない」といわれる
歯科技工士、重村宏氏。咬合治療のエキスパー
ト、杉元氏。前号に続き、咬合（噛み合わせ）の
診断・治療のベースを築くまでの経緯、ふたり
が見る歯科業界についてインタビューをした。

— おふたりは、なぜ「咬合」をテーマに共に
活動されるようになったんですか？

【重村】僕が、「歯周病」の次に取り組んでい
きたいテーマを「咬合」にしようと考えていた
当時、歯科業界での「咬合」は未知の世界で、理
論だけがあるという感じだったんです。そんな
とき、杉元先生が画像診断をやっていると
知ったので興味を持ったんです。ベースとなる
補綴は自分ができるし、杉元先生には画像診
断とそれを具現化していくオプシオンとシス
テムがあったしね。

— システム？

【重村】いい補綴物を作るためには歯科衛生
士やアシスタントや機器など、環境が揃ってい
なければできない。システムがちゃんと揃って
いれば、ドクターはちゃんと診察をして、数あ
るオプシオンの中から選択して技工士に提案
ができるんですよ。

【杉元】その後、重村先生と「咬合」について

の情報交換をしていたんですが、結局、「咬合
については、もう全部教えてもらえるところ
はない」とわかり、ふたりで組み上げて行こ
うということになったんです。

【重村】勉強会とか大勢の人が集まる場所
へ行くと、たいがいの人が「咬合について勉強
している人」というお墨付きをほしがると
す。でも、僕は単に答えがほしかった。でも、
答えはなかった。ないなら、自分らで作るし
かないですよ。それにしても、今思えばす
ごいですよ。まだ京田辺が無人駅の頃、遅く
までここで考えて、いつも終電に飛び乗って
いましたから（笑）。

【杉元】それで、ちよつと答えが見つかりか

答えがないとわかったら、
自分らで作るしかありませんよ。

けた頃。これまでに例のない症状を持つ患者
さんがいらつしやつたので、患者さんにも22
時過ぎぐらゐまで医院にいらつて、ふた
りで必死に答えを探しました。

— そうして、画像診断による咬合治療に成
功されたんですか？

【重村】そうですね。画像診断で咬合の治療
を事実として成功させたのは、あれがおそら
く世界初の症例だったと思います。歯周治療
を含めた長期症例はありますが、噛み合わせ
も含めたもので、5年、10年といった長期症例
は滅多にないんです。

【杉元】今でもないとしますよ。



PROFILE

歯科技工士 重村 宏氏

JIADS研修会講師 JPI講師 Japan Craft 主幹
Japan Prosthetic Dental Laboratory 開業

周囲の視線

杉元院長の傍で働いていれば
3年かかっても修得できないことが
1年で修得できるようになる。



又口公人氏
1971年7月生まれ。
大阪歯科学院 技工士学科卒業後、
同校に1年在学してインプラントの
技工を学び、スギモト歯科医院へ就職。
現在は歯科技工所の所長として勤務。

スギモト歯科医院の開業から約10年、杉元氏
の傍らで歯科技工物を作成してきた又口氏。
歯科技工士から見る杉元氏との姿とは？

— 又口さんが入社されたとき、面談は杉元
先生がされたんですか？

— そうです。今でもよく覚えていますよ。左右
同じ大きさの歯を作ってみなさいと言われ
たんです。学校では形を作るだけでいいとい

【重村】「咬合」って面白いんですよ。歯科医は歯の専門家のはずなんですが、「咬合」については、ほとんどの歯科医が患者さんと同じぐらいの知識しかない。高いとか低いとか、そんな程度のレベル。「どこで噛んでいいかわからない」という患者さんがいらっしやうとしたとすれば、どの歯科医も戸惑うはずですよ。

【杉元】でも、絶対に噛み合わせの位置は決めなければいけないんです。それを間違えたら、患者さんはかなりしんどい。あるいは、なんらかの疾患が出てくるんです。

【重村】それでも歯科医師が「噛み合わせ」などと言いながら治療ができるのは、人間の身体の順応性に助けられている部分があるからなんです。特に噛み合わせは順応する。超厳密にここしかないというふうなものであれば、甘い治療ではムリ。でも、順応しているだけで、ベストではないからほころびが出てくる。僕らがしてきたことは、「順応」と「曖昧さ」の線引き。きちんと測ったものを入れて、必要な順応性を活かすというか。本当に順応性だけに頼ればただの曖昧になりますね。

——しかし、不思議です。歯科業界では重村先生も杉元先生もエキスパートですが、こうして伺っていると、やるべきことを普通にされているという印象を受けます。なぜ、多くの歯医者さんや技工士さんは、先生方のようにされないのでしょうか？

【杉元】難しいからだと思います。自分がわからないという負い目があるからか、わざわざ難しく説明する。で、余計にわからなくし

国内外の情報を集めたけれど 結局、答えはなかったんです。



ている。あとは意気込みがない。結局、楽なほうへ行く。審美が流行れば審美を始めるとか。実際、審美が流行った頃、歯科医の技術が劇的に後退しましたからね。

【重村】審美にしても、根拠がないので腹が立つんです。行き詰まると自分の腕などを見直すほうに向かず、新しい素材や治療へと流れる。審美で少々綺麗にすれば患者さんは喜んでくれる。でも、表面的だから、問題が出てくる。そうやって当たり前のことが放つたらかされているわけです。

——今後、おふたりがやっていきたいと思うておられることはありますか？

【杉元】僕は、最近こう思っています。あるところまでは欧米の真似をしていけばやっていけた。でも、今は自分たちでこんなふうにして技術を築くことができる。だから、逆にメイド・イン・ジャパンで世界にいろいろなことを発信していきたいなと。

【重村】あとは、我々がやっている勉強会のよくなことをもつとしていきたいですね。歯科技工士であろうが歯医者であろうが、経験があるうがなろうが議論し合える場所。そこでなにかできるか、どんな価値が生まれるか、それはわからないけれども、ちゃんと技術で勝負しようというトレンドが生まれればいいなと思っています。

うレベルしか求められませんかから、かなり難易度の高いテストをされましたね(笑)。

——技工所では院内の補綴物を作成しながら外注のお仕事もされているそうですが、杉元先生が求められること、他院から求められることに違いはありますか？

他院から何かを求められることはほぼないんです。杉元院長から求められることはたくさんありますけどね。

——たとえば、どんなことを？

今も昔も求められているのは、スピードとクオリティ。あと、昔は指示された通りに作るので精一杯でしたが、今はこちらも「これが正解だ」という答えがわかっていますから、一度作ったものを調整しなければならなくなってきたなどは、「どうしたらいいやろ?」と質問されます。こちらも、そのようなときに対応できるように常に勉強ばかりしています。

——かなり厳しいお仕事ですね。

保険治療とか実費治療とかに関係なく、常にきちんとしたものを入れたいという意思を持っておられますし、ほかの技工所の技工士に比べたらかなり厳しいのは間違いないのですが、杉元院長のネットワークがあって、重村先生のような絶対にお会いできないような方の技を見せてもらうこともできますし、海外研修などにも連れて行ってもらえるので、技工士としては幸せだと感じています。

① アンケートのご協力をお願いします!

スギモト歯科医院では、「より満足していただける医院」を考えるために、患者さまにアンケートのご協力をお願いしております。ご協力いただいた方には歯ブラシ1本を進呈させていただきます。ご協力のほどよろしくお願いいたします。



② お手紙をお待ちしています!



院内新聞『FUNCTION』では、通院されている患者さまから、杉元医師へのご質問やご意見、治療の体験談など、歯に関するお手紙を募集しています。新聞に掲載させていただいた方には、香川で育った杉元医師オススメの半生うどん「かな泉」の鎌田醤油のうどん醤油付き「ぶっかけうどん」を進呈します。ふるって応募ください!

▲「(株)うどんの庄 かな泉」
http://www.kanaizumi.co.jp/

【応募方法】

お手紙やお葉書に、氏名・年齢・性別・電話番号・ご住所を明記の上、医院のポストに直接投函いただくか、必要分の切手を貼ってご郵送ください。書式や文字量は自由です（作文のみ、800～1200文字の文章量）。匿名希望の場合は、「匿名希望」とご明記ください。

※個人情報保護法に則り、患者さまからご提供いただいた情報はこちらで責任を持って管理させていただきます。ご掲載させていただく際、内容は変えませんが、一部文章を変更させていただきます。ご了承ください。また、お送りいただいたお手紙やお葉書はお返しできませんので、ご注意くださいませ。

医療法人 幸加会

スギモト歯科医院

〈 電 話 〉 0120-76-3718 (0774-64-2424)

〈 F A X 〉 0774-64-2266

〈 診 療 時 間 〉

(月～金) 10:00～13:00 / 14:00～20:00

(土) 10:00～13:00 / 14:00～18:00

〈 休 診 〉 日曜日、祝祭日

〈 主 な 設 備 〉 完全個室、オペ室完備、駐車場

〒610-0331 京田辺市田辺中央 1-2-11 アトリオパーク 2F

歯医者は今までにどれだけ訪ねたかわかりません。年齢と共に状態は悪化していく一方で悩みが尽きませんでした。そんなとき、ある方に相談してスギモト歯科医院をご紹介していただきました。初めての先生への対応もとても気持ち良く、お話もよく理解できる内容でした。治療方針もよく理解できるようになり、自分自身の生活のなかで、歯のケアもきちんとしてできるようになりました。最近の情報で「噛み合わせ」の大切さについても知るようになりました。診察中には、先生から「歯の噛み合わせが悪いと身体全体のバランスが悪くなることもあるので、どこかにそのいびつさが出てきているかもしれない」とも言われました。新聞を読むと、今さらながら先生が一貫して言っておられた中身がよく理解できます。これからも新聞を楽しみにしています。有難うございました。

京都在住/H・T

杉元が答える

Communication

たまたまかもしれませんが、予約の電話がかかりにくいときがあります。

大変ご迷惑をおかけしました。

当院では患者さま用の窓口となる電話を3台用意していますが、稀にお電話が重なることがあります。申しわけありませんが、しばらく時間をおいてお電話いただきますようお願いいたします。

http://sugimoto-dc.jp/

